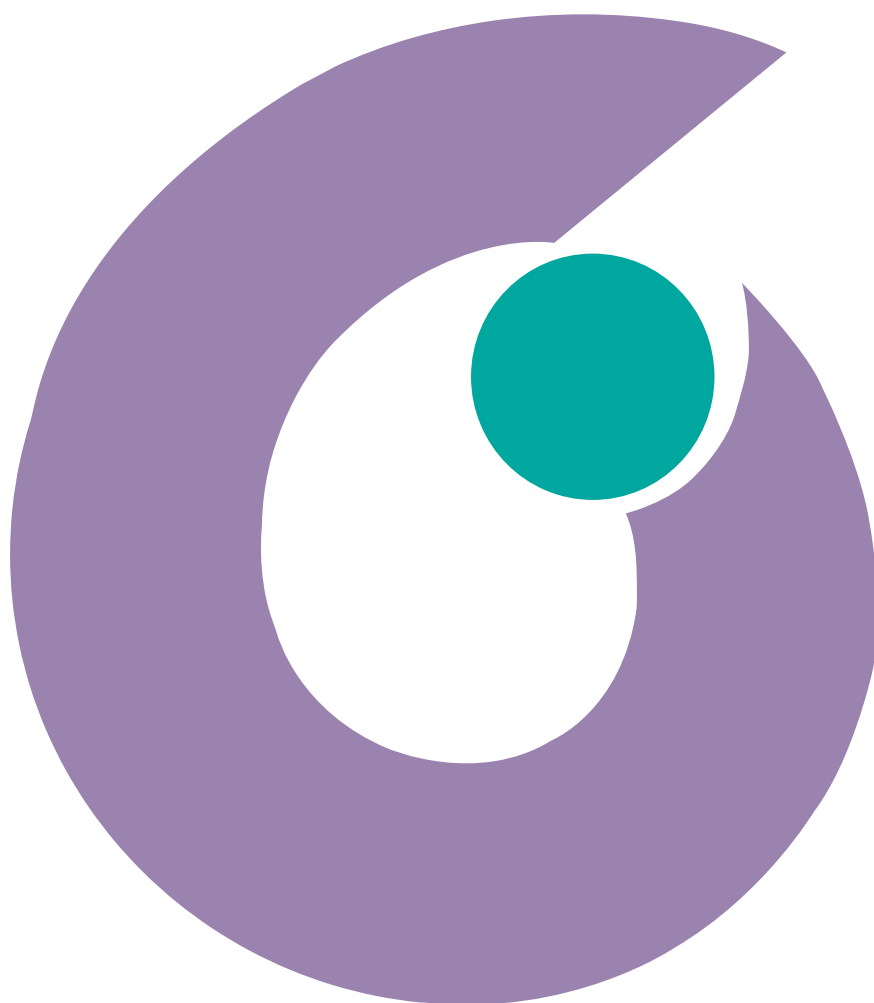


JOSG 日本一般臨床医矯正研究会
創設41周年 記念学術大会
「予防矯正にロマンを求めて」



日 時： 1 日目 **2022年11月26日(土)** 午後1時より(12時 受付開始)
2 日目 **11月27日(日)** 午前9時30分より(9時 受付開始)

会 場：**御茶ノ水ソラシティホール**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL：03-6206-4855

交 通：JR「御茶ノ水」駅徒歩1分

懇親会：**2022年11月26日(土)** 午後6時開宴(5時30分 受付開始)

会 場：**東京ドームホテル**

ご挨拶

当会 (J.O.S.G.) は、昨年、創設40周年を迎えました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため記念大会を先送りし、本年11月に41周年として記念大会を開催することになりました。

我々の指導者、各務 肇先生も長年研究を積み重ねられ、すべてのことが横に縦につながり、「大人になっての不定愁訴(特に更年期障害)を少しでも少なくし、その健康を維持させる咬合」…それを作るためには、「生まれた時からの予防矯正」の大切さを説いておられ、当会でも「重要課題」として勉強しております。

この大会は、それらの集大成として、皆様と共に「予防矯正」の必要性を確認しようと思います。

メインテーマに掲げている「ロマン」の意味としては、《夢》《あこがれ》《理想》などありますが、今回は、【強い思い入れ】・【追い求める価値】を求めたものであります。

一人でも多くの皆様のご参加を、心よりお願い申し上げますとともに、一人でも多くの子ども達を「将来健康とその維持」のために手助けをしてあげられることを願ってやみません。

J.O.S.G. (日本一般臨床医矯正研究会)

会長 勝沼 稔

大会長 染谷 博宣

◎連続講演

各務 肇



JOSG 顧問
各務 肇先生

「少しでも不定愁訴のない健康を維持するための、究極の予防矯正とは・・・」

一永久歯が並びきれれば良い、それが咬み合えば良い、
そして見た目もきれいなら良い・・・ではないー

歯の噛み合わせを正すと、色々な体調不良(いわゆる不定愁訴)などが改善されます。
それを臨床下において研究してきました。

「下顎位の大切さ」 下顎骨の不正位置からおこる顎関節症や、口腔周囲筋(主に舌骨上筋群)のアンバランスを原因とする不定愁訴、さらに体内酸素の不足の原因も歯列咬合であることが解りました。

また同時にこれらすべての原因となっている歯列・咬合の作られ方も研究してきました。

そして出た結論が「大人になった時に不定愁訴を発症させない歯列咬合をつくる」ということです。

「人間」として生まれて、生まれた時から、自然界が、何をやらせて生かしていくのが、それを知らないと、その人の将来健康の基礎を築くことや、手助けしてあげることもできません。

ですから、将来健康をめざすための第一歩は「生まれた時から始まる自然界における歯列の咬合の成長発育の方法を知った上で、それを手助けする」のが、予防矯正です。我々です。小児歯科医の責任は重大です。

人の健康を助けたいなら、3つの講義を確認してください。3つの講義は繋がっています。

(その1) 咬合関連の不定愁訴は、どのように起こり、どうやって治るのか。これを知らないと、健康を目指した究極の予防矯正はできない。

(その2) 自然界が作った人間、口腔周辺の不思議が色々あるが、それを知らないと、究極の予防矯正はできない。(歯列・咬合の作られ方など)

(その3) 将来の健康をめざした究極の予防矯正は、どのように考え、どのようにやるのか、その方法。

◎基調講演

小佐々 晴夫



JOSG 前会長
小佐々 晴夫 先生

My Way から Our Way へ —SDG's と予防矯正—

われわれ医療人は目の前の患者は診るが、患者集団としての社会・人類を診る意識は希薄である。今日、地球温暖化による気候変動や災害、環境破壊等で危機感が高まりつつあり、また大量生産・大量消費に裏付けされた資本主義の崩壊も云々されてきている。50年先、100年先…永遠に地球と人類がバランスよく存続するために、すべての活動を見直すべき時に来ている。医療とりわけ歯科医療はどうあるべきかを考えてみた時、“治療”に重きを置いてきた今までのやり方から、“予防”に重きを置く医療に転換すべきでしょう。

◎特別講演

筒井 照子

「歯が並んでいること」と「噛めること」



北九州市開業
筒井 照子 先生

「目があること」と「見えること」、「耳があること」と「聴こえること」を同じだと思っている人はいません。しかし、歯科では、「歯が並んでいる」と「噛めるはずだ」と思っている人が多いのかもしれませんが。「噛める」とは口腔生理学で機能的咬合系として、脳、中枢、咀嚼筋、顎関節、歯列、歯のバランスが必要であることは知識としては知っています。しかし、臨床の場ではその意識が少し希薄になっているのでしょうか。もう一度、臨床の中で「歯が並んでいること」と「それがうまく機能出来ているか」について考えてみたいと思います。御理解いただけると幸いです。

◎教育講演Ⅰ

福原 達郎

早期治療に用いた拡大スクリーつきエフ・カー・オー (FKO) の想定外効果



JOSG 名誉会長
昭和大学名誉教授
福原 達郎 先生

早期矯正治療は、混合歯列期と言ってもいい。学齢で言えば、小学校在学中の子どもに対する矯正治療と考えてもいい。

エフ・カー・オー (FKO) とは1963年にオスロー (ノルウエー) 歯科大学の Andresen (アンドレーゼン) と同僚 Haupt (ホイブル) との共著論文 Funktions-Kieferorthopedischer Apparat) の略語である。日本の歯科大学・大学歯部歯科矯正学の授業の中で必ず講義され、国家試験にも出る機能的顎矯正法のことである。ただし、この矯正装置を作成する模型実習は全廃され、学生が自分でFKOを作る実習は無くなった。ただ、ほとんどの歯科病院や、全国の矯正開業医ではかなり高い頻度で、患者さんの治療装置とした使用されている。患者さんは夜間にこれを使用する。大体8時間程度は寝ているので、きちんと使用してくれば、大きな効果が期待できる。

このFKOを正中分割し、拡大スクリーをつければ、歯列は左右は勿論、垂直方法にも構成咬合の力として前歯部で3・4ミリ程度上下歯列は垂直方向にも拡大される。今回の資料は将来上下左右の第1小臼歯が必要になると予想される症例を選び、側方拡大に成功しなければ、抜歯も避けられない場合が起こることを、了承した上で、治療を開始した。幸にして、抜歯症例は発生しなかった。想定外の速さで治療が進行してゆくの、この方法は、もっと利用されるように公表することを決意した。

◎教育講演Ⅱ

清水 清恵

「乳幼児期からの口腔機能発達支援の実際と課題」



JOSG 理事
清水 清恵 先生

生涯を通じて食事を美味しく食べ、会話を楽しみ、健やかに過ごすためには、健全な口腔機能の獲得と維持は欠くことのできないものと考えられる。歯科における機能へのアプローチといえば口腔筋機能療法 (myofunctional therapy: MFT) が代表として挙げられる。MFT は歴史的には矯正歯科臨床上のニーズから開発され発展してきた。しかし、歯列不正が顕著に現れる以前から、口腔周囲筋機能の不調和は認められ、仕上げ磨きが困難、食べ方が遅い、汚い、流涎、うがいができないなど、生活機能に差し障る問題として当たり前のように存在していることは少なくない。現在では口腔機能発達不全症の一つとして指導の対象となっている摂食・嚥下時の舌突出癖、誤った口唇位・舌位といった口腔筋機能障害の定着、重篤化防止のために、当医院で日頃から行なっている MFT を応用した口腔機能へのアプローチの実際を本講演ではご紹介したい。

◎教育講演Ⅲ

三村 善郎

「成長発育期の予防矯正」



JOSG 理事
三村 善郎 先生

成長発育期の予防矯正について
不正咬合の成因には生活習慣が深くかわり、その形は今までの生活習慣の積み重ねともいえます。成長発育期においては、咬合力や口唇、頬と舌の筋肉、それに伴う寝相や頬杖、口呼吸等の体の使い方が大きな要素になると思われますが、混合歯列後期の咬合誘導についてその方針について、過蓋咬合・下顎後退咬合を念頭に置きお話しさせていただきます。

J.O.S.G. 日本一般臨床医矯正研究会創設41周年記念 学術大会・懇親会 申込用紙

フリガナ
①代表者 (会員・準会員・非会員・スタッフ) (懇親会 参加・不参加)

フリガナ
②同伴者 (会員・準会員・非会員・スタッフ) (懇親会 参加・不参加)

フリガナ
③同伴者 (会員・準会員・非会員・スタッフ) (懇親会 参加・不参加)

医院名

住 所 (勤務先・自宅)

電話番号

★()内はいすれかに○印を記入して下さい

参加費

		事前登録	当日登録	懇親会
会 員		18,000 円	20,000 円	10,000 円
準 会 員 (会員のスタッフ)		10,000 円		
非 会 員	歯科医師	22,000 円	25,000 円	
	スタッフ	12,000 円		

- ※ 会員の参加ポイントは10ポイント(2倍)
- ※ 申込用紙に必要事項をご記入の上、事務局まで **FAX(03-3951-4704)**にてお申し込みください。**折り返し、参加申込受付票(振込案内)をお送りいたします。**
- ※ 申込用紙は当会ホームページ(www.josg.jp)からもダウンロード出来ます。
- ※ 参加費の入金を確認した時点で登録完了です。

事前登録締切：11月4日(金) (締切日以降は当日会費となります)



【お問い合わせ先】

日本一般臨床医矯正研究会事務局
〒171-0052
東京都豊島区南長崎5-27-2
柏ビル1F (株)筑波総合歯研内
TEL 03-3951-4702
FAX 03-3951-4704
ホームページ www.josg.jp

◆交通

JR 総武線・中央線「御茶ノ水」駅
聖橋口 徒歩1分

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅
B2出口直結 徒歩2分

東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅
1番出口 徒歩4分

※お客様の駐車場はご用意が
御座いません。

※ご来場の際は、公共交通機関を
ご利用くださいませ。

〔御茶ノ水ソラシティホール (東京・千代田区)〕

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ2F